

別記様式第8号(別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記5の第6、別記9の第6の1の(1)関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業（都道府県広域捕獲活動支援事業）、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業、シカ・クマ特別対策等事業、鳥獣被害防止対策促進支援事業（広域柵等鳥獣被害防止施設整備事業）の評価報告（令和6年度報告）

1 被害防止計画の作成数、特徴等

県内25市町のうち、令和元年度末までに全市町が被害防止計画を作成し、鳥獣被害防止対策に取り組んでいる。全市町がガシラを対象獣種として設定しているほか、県北部及び県西部の山間部を含む市町を中心に22市町がニホンジカ、11市町がツキノワグマ、22市町がニホンザルを対象獣種として設定している。また、ハクビシン及びアライグマについては平野部にも被害が拡大しており、全市町が対象獣種に設定している。また、鳥類についても、全市町が対象として設定している。

2 事業効果の発現状況

被害防止計画を作成した25市町のうち、24市町で地域協議会が設置され、地域ぐるみで被害防止活動を実施する体制整備が進んでいる。特に、協議会や果が実施する講習会や研修会などを通して、地域住民の被害対策意識の向上や集落の環境整備、捕獲技術向上等が図られるほか、捕獲器材の導入等による捕獲体制の整備・拡充が実施されている。

シカ及びイシンの捕獲頭数については、捕獲体制の整備等により捕獲が強化された。近年は高水率を維持してきているが、令和3年度のイシンの捕獲数は大きく減少し(対前年度に53%)、4年度以降は概ね減少した。これは、これまでシカ・イシンの生息数減少の傾向が顕著化していること、令和3年度に野生イシンの発生が急激に増加したことが追い打ちをかけた。その後個体数が回復しつつあると考えられる。

また、栃木県における野生鳥獣に関する被害物は被害総量は平成18年度以降減少傾向にあったものの、平成23年から再び増加していたが、平成29年度で減少に転じている。令和元年度は平成28年度より約4億3千円であり、対前年度増加し135%であった。捕獲と合わせて、侵入防止柵の設置や各種推進事業に取り組んでいる地域においては、被害軽減の効果が現れているが、生息域の拡大ともない、被害対策が実施されていない地域における地域ぐるみの被害対策や、対策実施地域における継続した取組が課題となっている。地域の体制整備、被害防犯教育、捕獲対策、人材育成、排他放棄地の解消等様々な取組が記載されている。

3 被害防止計画の目標達成状況

令和6年度を目標年度と設定し、事業に取り組んだ14市町・協議会のうち、11市町・協議会で目標を達成した。被害防止計画の目標の達成状況を記載する。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								第三者の意見	都道府県の評価	
										被害金額				被害面積						
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率			
宇都宮市鳥獣 被害防止対策 協議会	宇都宮市	R4	イノシシ ハクビシン	有害捕獲 緊急捕獲活 動	・イノシシ用くくりわな80基 ・イノシシ用箱わな1基 ・イノシシ用鼻くくりわな12基 ・ハクビシン等用箱わな33基 ・イノシシ用保定具10セット ・電気止め刺し4基 ・遮隔および監視装置11基 ・わな猟新規取得者捕獲講習会1回 ・イノシシ成獣19頭	協議会			有害鳥獣捕獲の実施体制が整備され、効果的な捕獲及び被害の軽減に繋がった。 捕獲活動への金銭的支援を行い、個人捕獲者の意欲が向上し、積極的な捕獲活動が図られた	イノシシ 7,961千円 ニホンジ カ 0千円 ハクビシ ン 4,886千円 タヌキ 2,621千円 計 15,468千円	イノシシ 5,471千円 ニホンジ カ 0千円 タヌキ 2,165千円 計 11,871千円	イノシシ 4,833千円 ニホンジ カ 0円 タヌキ 899千円 計 12,104千円	イノシシ 126% ニホンジ カ 100% タヌキ 338% 計 94%	イノシシ 6,31ha ニホンジ カ 0ha タヌキ 8,93ha 計 8,93ha	イノシシ 4,41ha ニホンジ カ 0ha タヌキ 1,03ha 計 6,43ha	イノシシ 3,31ha ニホンジ カ 0ha タヌキ 0,33ha 計 4,51ha	イノシシ 157.9% ニホンジ カ 100% タヌキ 369.2ha 計 177%	イノシシについては、実施部隊・個人捕獲者の積極的な捕獲活動が成果を上げたことで被害額の減少を図れている。今後も積極的な捕獲活動を継続するためには、新たな人材の確保を図るとともに、捕獲活動の省力化・効率化を図るためのICT機器の活用が必要と考える。 中型獣(ハクビシン・アライグマ・タヌキ)については、市全域で農作物被害のみならず、その周辺での生活環境被害が増加していることから、自治会単位など地域で一体的な捕獲活動が必要である。	イノシシによる被害が金額、面積ともに大きく減っている。実施部隊・個人捕獲者の積極的な捕獲活動が必要と考える。 中型獣(タヌキ等)の被害軽減に一定の効果が出ている。しかし、それ以上に被害が増加する傾向があるため、ハクビシンを含めた中型獣について対策を含めた中型獣に対する周知するとともに、集落・生産部会単位での一体的な被害対策が重要である。	
		R5	イノシシ ハクビシン	有害捕獲 緊急捕獲活 動	・イノシシ用くくりわな70基 ・イノシシ用鼻くくりわな7基 ・ハクビシン等用箱わな35基 ・イノシシ用保定具16セット ・電気止め刺し5基 ・トレイルカメラ5台 ・わな猟新規取得者捕獲講習会1回 ・ハクビシン等被害対策講習会1回 ・イノシシ成獣17頭	協議会			有害鳥獣捕獲の実施体制が整備され、効果的な捕獲及び被害の軽減に繋がった。 捕獲活動への金銭的支援を行い、個人捕獲者の意欲が向上し、積極的な捕獲活動が図られた											
		R6	イノシシ ハクビシン	有害捕獲 緊急捕獲活 動	・イノシシ用くくりわな110基 ・イノシシ用箱わな11基 ・ハクビシン等用箱わな34基 ・アニマルセンサー4基 ・わな猟新規取得者捕獲講習会1回 ・ハクビシン等被害対策講習会1回 ・イノシシ成獣27頭	協議会			有害鳥獣捕獲の実施体制が整備され、効果的な捕獲及び被害の軽減に繋がった。 捕獲活動への金銭的支援を行い、個人捕獲者の意欲が向上し、積極的な捕獲活動が図られた											
栃木市野生鳥 獣対策被害対 策連絡協議会	栃木市	R4	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ハクビシン アライグマ 鳥類	有害捕獲 緊急捕獲活 動	電気止めさし機22基 地埋線の持ち手10式 箱わな大53基 くくりわな96基 イノシシ成獣1060頭、イノシシ幼獣120頭、シカ成獣584頭、シカ幼獣16頭、サル成獣1頭、ハクビシン138頭、アライグマ174頭、鳥類319羽	協議会			猟友会への捕獲用資機材の提供により有害捕獲活動の強化に繋がった。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ・ シカ・サル 1,263千円 鳥類 56千円 ハクビシ ン 4,979千円 合計 6,298千円	イノシシ・ シカ・サル 1,000千円 鳥類 45千円 ハクビシ ン 4,000千円 合計 5,045千円	イノシシ・ シカ・サル 7,284千円 鳥類 79千円 ハクビシ ン 3,336千円 合計 10,699千円	イノシシ・ シカ・サル -2289% 鳥類 209% ハクビシ ン 168% 合計 351%	イノシシ・ シカ・サル 357a 鳥類 12 ハクビシ ン 41a 合計 399	イノシシ・ シカ・サル 280a 鳥類 1a ハクビシ ン 33a 合計 314a	イノシシ・ シカ・サル 583a 鳥類 2a ハクビシ ン 20a 合計 605a	イノシシ -294% 鳥類 -294% ハクビシ ン 263% 合計 242%	猟友会による有害捕獲、藪や茂みの刈払い等の環境整備、市補助金を活用しての侵入防止柵の設置を実施するとともに、地元住民が正しい知識に基づく対策を実施できるよう、鳥獣管理士を招いての学習会等を開催することで、鳥獣害対策の3本柱の推進を図った。 被害状況については、イノシシによる被害が最も多く、近年は渡良瀬遊水地からの出没個体による農業被害が著しく、市全体の被害額・被害面積は大幅に増加となった。これらの現状を踏まえ、今まで以上に国や県、地元自治体が一体となって渡良瀬遊水地対策を進めていく必要があり、目標こそ達成できなかったものの、一定の被害防止効果をを得られた。 鳥類については、猟友会に委託してのカラス等の追い払い・駆除を実施し、目標こそ達成できなかったものの、一定の被害防止効果をを得られた。 ハクビシンについては、被害を受けている住民自身または猟友会による捕獲を推進し、目標を達成することができた。	引き続き、今までの対策(捕獲・侵入防止対策・生息環境整備)を推進することが重要であると、自己防衛及び集団防衛の重要性を被害地域全体に広める必要がある。 なお、ハクビシン・アライグマは、市の箱わなの貸与等に自ら自己防衛が進んでいると考えられる。 今回の被害額の多々を占める渡良瀬遊水地周辺のイノシシ被害については、市単独での対応は厳しく、関係市町や県、国が一体となり対策を検討していく必要がある。	猟友会と連携した捕獲や藪等の刈払いを進めるとともに、鳥獣管理士等と連携して被害発生地域における地域住民の知識向上や罠や柵の設置を進め、効果が徐々に現れてきている一方で、渡良瀬遊水地でのイノシシの生息が大幅に増加し、近隣での被害が増加した。引き続き地域住民と関係機関等が連携した更なる対策の強化が必要である。
		R5	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ハクビシン アライグマ 鳥類	有害捕獲 生息環境管 理 実施隊体制 強化 緊急捕獲活 動	箱わな大9基 箱わな小1基 くくりわな41基 電気止めさし器2基 センサーカメラ 実施隊活動経費 新規実施隊へのOJT研修 イノシシ成獣709頭、イノシシ幼獣46頭、シカ成獣525頭、シカ幼獣18頭、サル成獣2頭、ハクビシン74頭、アライグマ207頭、鳥類354羽	協議会			猟友会への捕獲用資機材の提供により有害捕獲活動の強化に繋がったほか、緩衝帯の整備によりイノシシ及びシカによる被害を低減することができた。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。											
		R6	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ハクビシン アライグマ 鳥類	侵入防止柵 有害捕獲 被害防除 生息環境管 理 サル複合対 策 緊急捕獲活 動	WM柵253m 既設柵補強2,200m 電気止めさし器、箱わな大、箱わな小 研修開催 実施隊日当 箱わな中4基 生息状況調査 研修開催 イノシシ成獣1116頭、イノシシ幼獣174頭、シカ成獣503頭、シカ幼獣28頭、サル成獣3頭、ハクビシン99頭、アライグマ246頭、鳥類270羽	協議会			猟友会への捕獲用資機材の提供により有害捕獲活動の強化に繋がったほか、緩衝帯の整備によりイノシシ及びシカによる被害を低減することができた。また、ワイヤーメッシュ柵を設置した箇所においては、イノシシの侵入被害が無くなった。そのほか、サル複合対策については、GPSによる行動追跡調査を実施することで、群れの数や行動範囲等を把握することができた。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。											
佐野市有害鳥 獣被害対策協 議会	佐野市	R4	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ツキノワグマ ハクビシン アライグマ 鳥類	有害捕獲 被害防除 緊急捕獲活 動	くくりわな260基 箱わな大6基 わな猟講習会 イノシシ成獣105頭、イノシシ幼獣21頭、シカ成獣1020頭、シカ幼獣31頭、サル成獣29頭、サル幼獣5頭、	協議会			わなの増設等により捕獲体制が整備され、捕獲につながった。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ 2,101千円 ニホンジ カ 2,666千円 計 2,367千円	イノシシ 1,452千円 ニホンジ カ 204千円 計 1,656千円	イノシシ 7,267千円 ニホンジ カ 2,989千円 計 10,256千円	イノシシ -75% ニホンジ カ -439% 計 -1109%	イノシシ 534a ニホンジ カ 73a 計 607a	イノシシ 435a ニホンジ カ 73a 計 508a	イノシシ 856a ニホンジ カ 515a 計 1371a	イノシシ -325% ニホンジ カ 計 -771%	引き続き猟友会と連携し捕獲圧を上げ、野生獣の駆除を推進された。 い、 わな免許保持者を確保するため県と連携し周知に努めていた。また、 ニホンジカの個体数も高止まりしており、囲い罠などで大量捕獲ができなかったことも一因と考える。	農の配布や農猟講習会 の開催により捕獲は強化さ れているものの、イノシシ、 シカとも被害金額、面積が 連年より増加している現 状である。今後、侵入防止 や環境整備の必要性を地 域住民へ理解させる取組も 必要と思われる。	
		R5	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ツキノワグマ ハクビシン アライグマ 鳥類	有害捕獲 被害防除 緊急捕獲活 動	くくりわな315基 箱わな中6基 わな猟講習会 イノシシ成獣525頭、イノシシ幼獣26頭、シカ成獣944頭、シカ幼獣21頭、サル成獣29頭、サル幼獣17頭	協議会			わなの増設等により捕獲体制が整備され、捕獲につながった。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。											
		R6	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ツキノワグマ ハクビシン アライグマ 鳥類	有害捕獲 被害防除 緊急捕獲活 動	くくり屋238基 わな猟講習会 イノシシ成獣1,010頭、イノシシ幼獣50頭、ニホンジカ成獣866頭、ニホンジカ幼獣29頭、ニホンザル成獣10頭、ニホンザル幼獣1頭	協議会			わなの増設等により捕獲体制が整備され、捕獲につながった。 緊急捕獲活動により捕獲従事者の意欲が高まり、効果的な捕獲に繋がった。											

有害鳥獣対策協議会	R5	ニホンジカ アライグマ	有害捕獲	箱わな大1基 箱わな小14基 くくりわな6基 電気止めさし器1基 わな用プレート メッキワイヤー 小動物用さすまた 監視カメラ 実施隊活動経費	協議会		わなの増設等により捕獲体制が整備され、捕獲につながった。	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	イノシシ 0千円 ニホンジ カ 0千円 ニホンザ ル 0千円 鳥類 0千円 ハクビシ ン	事業を活用し有害鳥獣捕獲の体制強化をすることでニホンジカ、アラ イグマの捕獲件数が増加した。 しかしながら、アライグマ、タヌキは基準年（R2）と目標年（R6）を比較 すると被害が大幅に増え目標が未達成となった。原因としては、基準年 （R2）時点ではアライグマの被害が無かったが目標年（R6）で発生した。 また、タヌキにおいては高収益作物である「いちご」の被害が被害金額 を大きく引き上げた。	深刻な農業被害等が発生する前の段階で、実施隊の整備、わな資材の 提供、狩猟免許取得者支援などを実施していることについては評価 できる。 しかしながら、対策が捕獲に偏り防除や環境整備の対策が不十分 で、住民への普及啓発的な事業の展開も十分には成されていないこと から、今後は予防的な観点からもバランスのよい対策を検討する必要 がある。 イノシシの対策については、河川沿いを重点地域に位置づける などし、河川管理者との連携も模索する必要がある。 アライグマ、ハクビシ、タヌキについては、3種をセットとしてとらえ、 町内全域の住民を対象にした普及啓発のための講演会や講習会が環 やかに開催されることが期待される。	実施隊による捕獲を中心 とした対策に努め、大 型獣の被害を減らして、ア ライグマ等の小型獣の被 害が多く発生してきており、 目標達成にはいけなくなっ た。今後は更なる捕獲の強 化を図るとともに、地域住 民への学習の場の設定や 環境整備対策の支援を 図っていく必要がある。	
		R6	ニホンジカ アライグマ	有害捕獲	箱わな大6基 くくりわな10基 鼻くくりわな14基 電気止めさし器19基 捕獲用箱 実施隊活動経費	協議会		わなの増設等により捕獲体制が整備され、捕獲につながった。	イノシシ 3千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 1千円 計 4千円	イノシシ 1千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 1千円	イノシシ 0千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 アライグ マ 0千円 タヌキ 0千円 計 0千円			
野木町有害鳥 獣被害対策協 議会	野木町	イノシシ ハクビシ ン・アライ グマ	有害捕獲	・電気土釜機購入2基 ・くくり農購入10基 ・ハクビシ、アライグマ用箱わな 7基 ・イノシシ捕獲駆除活動延べ56回 ・野性鳥類駆除活動延べ21回 ・巡回活動等延べ432回	協議会		農や関連備品等の増設により捕獲団体の捕獲体制が整備され、効果的な捕獲につながった。	イノシシ 61千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 61千円	イノシシ 0千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 0千円	イノシシ 22千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 22千円	イノシシ 63% ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 63%	イノシシ 1a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 1a	イノシシ 0a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 0a	イノシシ 12a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 12a	イノシシ -110% ハクビシ ン・アライ グマ -110% 計 -110%	町の西側に流れる思川河川敷及びそれに隣接した渡良瀬遊水地内 のイノシシ生息数が実施期間内に増加し、想定よりも広い面積での農 業被害が発生してしまった。（達成率－110％） （※渡良瀬遊水地内のイノシシ生育数：令和元年度205頭、令和5年 度834頭、令和6年度1,044頭） 令和4年度より鳥獣被害対策実施隊を発足し、捕獲・駆除体制を強化 し被害金額は当初を下回ることができた。ただし、達成率（被害金額）が 63％と低値のため、今後改善を要するものと思われる。 町の事業としては、捕獲に取組み、ニホンジカ、イノシシ共に、捕獲 の増加に伴い、被害金額、面積も減少させている。 一方、ハクビシは、捕獲数、被害金額、被害面積、すべて減少して いることから、個体数自体が減少しているものと思われる。 引き続き、ニホンジカ、イノシシの捕獲に力を入れていく。	獣害対策は、環境整備、侵入防止、捕獲を総合的に実施していくこと が必要である。 野木町は、イノシシ対策として捕獲をメインとして実施しているようであ るが、捕獲のみで獣害対策に一定の成果を得た事例を確認した上で実 施しているのだろうか。 野木町の西部は、イノシシの一大生息地となった渡良瀬遊水地及び それに接続する思川に隣接している。捕獲効率の低調な箱罠を主体と した捕獲に依存した現状において、一大生息地からの侵入を抑止し、 被害の軽減を図るとは不可能であると推察される。当該地域につい ては、強固な侵入防止柵の構築等を図るべきである。 一方、他の地区については、詳細な被害状況の把握そして生息状況 を把握の上で、適正な防除対策の構築を図るべきである。 防除対策の構築に当たっては、専門家の指導助言のもと調査、検討を 図るべきである。 根本的な防除対策の樹立及び実践がない限り、イノシシ被害の抜本 的な改善を図ることは困難であると思われる。 なお、野木町では10年以上前からアライグマの生息が確認され、生 息数も大幅に増加しているものも推察される。抜本的な対策強化が望ま れる。	実施隊によるイノシシの 捕獲の強化に努め、捕獲 頭数は増加しており、効果 はでてきているものの、思 川河川敷や渡良瀬遊水地 内のイノシシの生息が大幅 に増加してきていることか ら、捕獲と併せて地域 住民と連携した環境整備 対策に取組むことの対策が必 要である。
		R5	イノシシ ハクビシ ン・アライ グマ	有害捕獲	・箱わな（大型）1基 ・くくりわな10基 ・縦穴掘り作業工具4本 ・ワイヤードラップ4台 ・イノシシ捕獲駆除活動延べ40回 ・巡回活動延べ475回 ・有害鳥獣駆除活動延べ40回	協議会		農や関連備品等の増設により捕獲団体の捕獲体制が整備され、効果的な捕獲につながった。	イノシシ 0千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 0千円	イノシシ 22千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 22千円	イノシシ 63% ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 63%	イノシシ 1a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 1a	イノシシ 0a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 0a	イノシシ 12a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 12a	イノシシ -110% ハクビシ ン・アライ グマ -110% 計 -110%		
		R6	イノシシ ハクビシ ン・アライ グマ	有害捕獲	・イノシシ用くくりわな10基 ・イノシシ用箱わな6基 ・イノシシ用鼻くくりわな2基 ・イノシシ用鼻くくりわな10基 ・箱わな用電気止め刺し6基 ・小動物用電気止め刺し2基 ・イノシシ用止め刺し植2本 ・イノシシ鼻くくり2基 ・巡回活動延べ907回 ・イノシシ捕獲駆除活動延べ129回	協議会		農や関連備品等の増設により捕獲団体の捕獲体制が整備され、効果的な捕獲につながった。	イノシシ 0千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 0千円	イノシシ 0千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 0千円	イノシシ 22千円 ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 22千円	イノシシ 63% ハクビシ ン・アライ グマ 0千円 計 63%	イノシシ 1a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 1a	イノシシ 0a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 0a	イノシシ 12a ハクビシ ン・アライ グマ 0a 計 12a	イノシシ -110% ハクビシ ン・アライ グマ -110% 計 -110%		
塩谷町	塩谷町	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	緊急捕獲活動	イノシシ成獣78頭、イノシシ幼獣3 頭、シカ成獣353頭、シカ幼獣2 頭、ハクビシ31頭	町		捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ 7,694千円 ニホンジ カ 4,514千円	イノシシ 7,463千円 ニホンジ カ 4,514千円	イノシシ 5,898千円 ニホンジ カ 4,259千円	イノシシ 777% ニホンジ カ 1,522%	イノシシ 6,01ha ニホンジ カ 4,09ha	イノシシ 5,83ha ニホンジ カ 3,97ha	イノシシ 4,12ha ニホンジ カ 4,00ha	イノシシ 1050% ニホンジ カ 75%	ニホンジカ、イノシシについては、捕獲、防除、生息環境管理の3つを 柱とした対策に取り組んでいる。 野生鳥獣対策協議会の事業としては、防除及び生息環境管理に取り 組み、3地区で侵入防止柵の設置及び生息環境管理を行い、被害はな くなった。侵入防止柵設置後の維持管理については、地区により温度 差がみられることから、適正な維持管理を指導していきたい。	侵入防止柵の設置地区の被害量については、今後の設置や維持管 理に資するため、計画期間以前に遡って的確に把握していく必要があ ると考える。	侵入防止柵の設置が進 んでおり、整備された地域 では被害が見られなくなっ ている。今後も維持される よう継続的な生息環境管 理を支援していく必要があ る。 防除は、侵入防止柵の設置 と併せて、地域住民の協 力を得て、被害の軽減を 目指していく必要がある。 また、野木町では10年以 上前からアライグマの生 息が確認され、生息数も 大幅に増加しているもの も推察される。抜本的な 対策強化が望まれる。
		R5	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	緊急捕獲活動	イノシシ成獣94頭、イノシシ幼獣1 頭、シカ成獣400頭、シカ幼獣1 頭、ハクビシ27頭	町		捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ 206千円 計 12,414千円	イノシシ 200千円 計 12,042千円	イノシシ 0千円 計 8,357千円	イノシシ 3,433% 計 1,090%	イノシシ 0,03ha 計 10,12ha	イノシシ 0,03ha 計 9,83ha	イノシシ 0ha 計 8,12ha	イノシシ - 計 690%		
		R6	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	緊急捕獲活動	イノシシ成獣99頭、イノシシ幼獣1 5頭、シカ成獣426頭、シカ幼獣0 頭、ハクビシ4頭	町		捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。										
塩谷町鳥獣被 害対策協議会	塩谷町	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	侵入防止柵 被害防除 生息環境管 理 緊急捕獲活 動	WM柵2,370m 実施隊の被害防除指導 緩衝帯整備 イノシシ成獣81頭、イノシシ幼獣7 頭、シカ成獣417頭、シカ幼獣2 頭、ハクビシ34頭	協議会		柵の設置により、イノシシ・ニホンジカの侵入を防止することができた。 実施隊の被害防除指導や緩衝帯整備を行うことで効果的な被害対策に繋がった。 捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ 7,694千円 ニホンジ カ 4,514千円	イノシシ 7,463千円 ニホンジ カ 4,514千円	イノシシ 5,898千円 ニホンジ カ 4,259千円	イノシシ 777% ニホンジ カ 1,522%	イノシシ 6,01ha ニホンジ カ 4,09ha	イノシシ 5,83ha ニホンジ カ 3,97ha	イノシシ 4,12ha ニホンジ カ 4,00ha	イノシシ 1050% ニホンジ カ 75%	ニホンジカ、イノシシについては、捕獲、防除、生息環境管理の3つを 柱とした対策に取り組んでいる。 野生鳥獣対策協議会の事業としては、防除及び生息環境管理に取り 組み、3地区で侵入防止柵の設置及び生息環境管理を行い、被害はな くなった。侵入防止柵設置後の維持管理については、地区により温度 差がみられることから、適正な維持管理を指導していきたい。	侵入防止柵の設置地区の被害量については、今後の設置や維持管 理に資するため、計画期間以前に遡って的確に把握していく必要があ ると考える。	侵入防止柵の設置が進 んでおり、整備された地域 では被害が見られなくなっ ている。今後も維持される よう継続的な生息環境管 理を支援していく必要があ る。 防除は、侵入防止柵の設置 と併せて、地域住民の協 力を得て、被害の軽減を 目指していく必要がある。 また、野木町では10年以 上前からアライグマの生 息が確認され、生息数も 大幅に増加しているもの も推察される。抜本的な 対策強化が望まれる。
		R5	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	侵入防止柵 被害防除 生息環境管 理 緊急捕獲活 動	WM柵1,000m 実施隊の被害防除指導 緩衝帯整備 イノシシ成獣84頭、イノシシ幼獣1 頭、シカ成獣354頭、シカ幼獣1 頭、ハクビシ28頭	協議会		柵の設置により、イノシシ・ニホンジカの侵入を防止することができた。 実施隊の被害防除指導や緩衝帯整備を行うことで効果的な被害対策に繋がった。 捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。	イノシシ 12,414千円	イノシシ 12,042千円	イノシシ 0千円 計 8,357千円	イノシシ 3,433% 計 1,090%	イノシシ 0,03ha 計 10,12ha	イノシシ 0,03ha 計 9,83ha	イノシシ 0ha 計 8,12ha	イノシシ - 計 690%		
		R6	イノシシ ニホンジカ ハクビシ ン	侵入防止柵 被害防除 緊急捕獲活 動	WM柵3,212m 実施隊活動経費 イノシシ成獣89頭、イノシシ幼獣 15頭、シカ成獣353頭	協議会		柵の設置により、イノシシ・ニホンジカの侵入を防止することができた。 実施隊で被害防除の取組を行うことで、効果的な被害対策に繋がった。 捕獲従事者の捕獲意欲が向上し、効果的な捕獲に繋がった。										
高根沢町野生 鳥獣対策協議 会	高根沢町	イノシシ ハクビシ カラス カモ	有害捕獲 被害防除	イノシシ用くくり農捕獲機160基 電気止め刺し4セット 実施隊巡回・事務用購入	協議会		イノシシの出没数が減少し、被害が発生しなかった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。	イノシシ 3千円 ハクビシ ン 45千円	イノシシ 0千円 ハクビシ ン 40,5千円	イノシシ 0千円 ハクビシ ン 2,719千円	イノシシ 100% ハクビシ ン -5942%	イノシシ 0,02ha ハクビシ ン 0,04ha	イノシシ 0ha ハクビシ ン 0,036ha	イノシシ 0ha ハクビシ ン 0,18ha	イノシシ 100% ハクビシ ン 0%	鳥類については、被害面積は減少したものの、被害金額は増加して おり、猟友会へ委託している5月の特別駆除を引き続き実施していく。 獣類については、イノシシの被害防除については100%の達成率と なったが、依然としてイノシシの目撃情報はあつたため、引き続き効率的 な捕獲体制を講じていく。 また、ハクビシについては被害面積・被害金額ともに防止計画目標 を達成できなかった。高根沢東部地区でハクビシの出没数及び被害 カモ類 相対数が増加しているため、農の設置場所や数量等の検討により捕獲 体制を強化していく。猟友会から被害者へ向けて農の設置方法の指導 を行い、被害者自らで農を設置する必要性も今後検討する。	鳥類については、猟友会による駆除を効果的に行うため農業生産者 や関係各所、地域住民との連携・情報共有を密にすることで被害軽減を目指 していただきたい。 獣類については、イノシシについては十分な効果が現れており、計 画を継続していただきたい。ハクビシについては被害増加地区への 農を達成できなかった。高根沢東部地区でハクビシの出没数及び被害 カモ類 相対数が増加しているため、農の設置場所や数量等の検討により捕獲 体制を強化していく。猟友会から被害者へ向けて農の設置方法の指導 を行い、被害者自らで農を設置する必要性も今後検討する。	イノシシについては継続 的な農設置や捕獲体制の 強化により被害減少につな がっている。 被害金額が増加している ハクビシについては箱罠 の貸与を含め地域ぐるみで の対策に取り組む必要があ る。
		R5	イノシシ ハクビシ カラス カモ	有害捕獲 被害防除	イノシシ用くくり農捕獲機100基 小型動物用箱罠捕獲機9基 実施隊巡回・事務用品購入	協議会		イノシシの出没数が減少し、被害が発生しなかった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。	イノシシ 143千円 カモ類 298千円 計 489千円	イノシシ 129千円 カモ類 268千円 計 437,5千円	イノシシ 227千円 カモ類 460千円 計 3,406千円	イノシシ -600% カモ類 -540% 計 -5664%	イノシシ 0,32ha カモ類 0,47ha 計 0,85ha	イノシシ 0,29ha カモ類 0,42ha 計 0,740ha	イノシシ 0,18ha カモ類 0,36ha 計 0,58ha	イノシシ 220% 計 260%		
		R6	イノシシ ハクビシ カラス カモ	有害捕獲 被害防除	箱わな大4基 くくり農30基 実施隊巡回・事務用品購入	協議会		イノシシの出没数が減少し、被害が発生しなかった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。										
那須町地域担 い手育成総合支 援協議会	那須町	イノシシ ニホンジカ ニホンザ ル ハクビシ ン カルガモ カラス サギ類	有害捕獲 緊急捕獲活動	箱わな大4基 箱わな中4基 イノシシ成獣186頭、イノシシ幼獣 5頭、シカ成獣67頭、サル成獣3 頭、サル幼獣5頭	協議会		新たなわなの導入により捕獲体制が整備され、より効果的な捕獲に繋がった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。	イノシシ 30,867千円 ニホンジ カ 830千円 ニホンザ ル 6,164千円	イノシシ 21,600千円 ニホンジ カ 580千円 ニホンザ ル 4,300千円	イノシシ 2,000千円 ニホンジ カ 2,000千円 ニホンザ ル 2,000千円	イノシシ 257% ニホンジ カ 13千円 ニホンザ ル 13千円	イノシシ 1,096a ニホンジ カ 35a ニホンザ ル 186a	イノシシ 670a ニホンジ カ 25a ニホンザ ル 130a	イノシシ 830a ニホンジ カ 1a ニホンザ ル 32a	イノシシ 62% ニホンジ カ 340a ニホンザ ル 332%	イノシシの農作物被害金額は減少したものの、被害面積が縮小しな い理由にはイノシシの生息域が拡大しているためと推測する。 ハクビシの農作物被害金額、面積ともに減少していたらなかったのは 個体数増加と、捕獲体制の整備が十分ではなかったため。 イノシシの農作物被害においては果樹被害が多くを占める。果樹園など では農業者自身に防除を図ってもらっているために、しきれない部分が 多いことが顕著である。	イノシシの捕獲頭数を維持することが出来ていることから、実施者た ちの意欲は維持できていると思われる。その一方で被害の軽減がみ られないことから捕獲以外の対策を行う必要がある。主に防除や 環境整備による活動や研修会などカラスやハクビシなどの被害金額 が多く出ており、それぞれに特化した対策支援や捕獲体制の構築を 行っていく必要がある。 また、専門家や実施隊と農業者の方が情報交換をする事が出来る機会 を作り、正しい知識を得ることが重要。	イノシシ、サル、シカの被 害金額が減少しており、取 組の効果がより評価でき る。一方でイノシシの被害 面積は拡大しており引き続 き継続的に対策を実施し ていく必要があると思われ る。 また近年クマの被害も増加 していることから次期計画 には軽減目標を立て、対策 していく必要があると思わ れる。
		R5	イノシシ ニホンジカ ニホンザ ル ハクビシ ン カルガモ カラス サギ類	有害捕獲 緊急捕獲活動	箱わな大3基 イノシシ成獣175頭、イノシシ幼獣 16頭、シカ成獣66頭、シカ幼獣3 頭、サル成獣7頭、サル幼獣1頭	協議会		新たなわなの導入により捕獲体制が整備され、より効果的な捕獲に繋がった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。	イノシシ 2,888千円 カルガモ 4567千円 カラス 780千円 サギ類 1114千円 計 811千円	イノシシ 2,000千円 カルガモ 3,200千円 カラス 1,857千円 サギ類 0千円 計 33,030千円	イノシシ 2,000千円 カルガモ 3,200千円 カラス 1,857千円 サギ類 0千円 計 33,030千円	イノシシ 88% カルガモ 334% カラス -223% サギ類 337% 計 225%	イノシシ 46% カルガモ 345a カラス 70a サギ類 63a 計 1841a	イノシシ 30% カルガモ 240a カラス 50a サギ類 40a 計 1165a	イノシシ 40a カルガモ 0a カラス 40a サギ類 0a 計 911a	イノシシ 38% カルガモ 329% カラス 150% サギ類 274% 計 142%		
		R6	イノシシ ニホンジカ ニホンザ ル ハクビシ ン カルガモ カラス サギ類	有害捕獲 緊急捕獲活動	くくりわな20基 イノシシ成獣277頭、イノシシ成獣 10頭、シカ成獣49頭、シカ幼獣3 頭、サル成獣17頭、サル幼獣2頭	協議会		新たなわなの導入により捕獲体制が整備され、より効果的な捕獲に繋がった。また、捕獲関係資材を整備することで捕獲体制が強化された。										

栃木県	栃木県	R6	－	広域捕獲活動	・とらぎ獣害対策アドバイザー派遣事業（10地区） ・カワウ被害防止対策事業 ・サル生息状況調査 ・クマ生息状況調査 ・シカ生息状況調査	県					・獣類による農作物被害が深刻化している地域等に獣害対策の専門家を派遣して被害状況や加害獣の出没状況を調査し、地域の現状と課題を把握することにより、必要な被害防止対策を情報提供したことにより、地域の取り組みの推進につながった。 ・カワウについて、県内の生息状況を調査（14箇所）し、その結果に基づき広域的に捕獲、追い払いを実施することができた。 ・サルについて、被害地域における位置情報や被害情報等から生息状況を広域的に調査し、得られたデータから群れの捕獲や追い払い等の取り組みの推進につながった。 ・クマについて、生息密度調査や堅果類の豊凶等の調査結果により出没を予測することにより、収穫残渣の除去等の被害対策の推進につながった。 ・シカについて、糞塊密度調査結果に基づいて生息状況を把握し、効果的な捕獲等の対策につながった						農作物被害を軽減するためには、地域ぐるみの取組を浸透させることが重要であり、県としてその取組を支援するため、地域リーダーとなる人材の育成を図るとともに、住民の意識の向上や集落環境の整備、侵入防止柵の設置や捕獲技術向上などの鳥獣被害防止対策を総合的に推進した。野生鳥獣による農作物被害が深刻かつ集落住民の合意形成が図れた地域では、体制が整備され、被害軽減につなげることができた。一方で、被害状況等が正確に把握できず課題意識が無い地域や、新しく被害が発生し始めた地域、地域ぐるみの取組に対する合意形成が図れていない地域では、獣類の生息域が拡大し、対策が追いついていない状況であることが課題である。引き続き、地域の取組を支援してく中で、こうした地域への働きかけが必要であると考ええる。	－
				新技術実証・普及活動	・ICT活用による新技術実証 ・農業被害防止対策サポーター事業						・新技術実証では、新規格の防護柵の実証を行いでは、シカやイノシシに加えサル対策にも活用できることを確認し、効果的な被害防止手法の普及につながった。 ・サポーター事業では、獣害発生地域に獣害対策の専門家を派遣し、専門家の指導の下、普及指導員が被害状況及び加害獣出没状況を調査することにより、被害防止対策の普及指導につながった。							
				人材育成活動	・獣害対策地域リーダー育成研修（13回）						・座学及び現地実習を組み合わせたカリキュラムにより地域ぐるみの獣害対策推進に不可欠な専門的知識と技術を習得させることにより、実施隊員など、地域での鳥獣対策指導を行う立場の人材のスキル向上につながった（13回）。							

- 注1：被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
2：都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。
3：事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
4：「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
5：鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。
6：被害防止計画に定められた全ての対象鳥獣について、鳥獣ごとに実績値や達成率等を記載すること。また、合算達成率も記載すること。
7：次のいずれかに該当する場合には、達成率が低調であると判定すること。
（1）被害面積、被害金額等について、合算達成率が共に70％未満である場合
（2）次に該当する鳥獣種の被害面積、被害金額等について、対象鳥獣ごとの達成率が共に70％未満である場合
ア 被害金額全体（全ての対象鳥獣における被害金額（実績値）の合計をいう。以下イにおいても同じ。）の2割以上を占めるシカ又はイノシシ
イ 被害金額全体の5割以上を占めるシカ及びイノシシ以外の対象鳥獣
8：目標が未達成となった場合は、「都道府県の評価」の欄に、総合支援チェックシート及び緊急捕獲チェックシートの遵守状況に係る確認結果を記載すること。
なお、遵守状況の確認に当たっては、証拠書類の保存・提出は必須ではない。ただし、聞き取りの結果、書類を保存していると回答があった場合には、当該書類を確認する場合がある。

5 都道府県による総合的評価

県内における鳥獣類による農作物への被害地域は、高い水準で推移していたが、平成28年度をピークに近年は減少傾向であり、獣類被害のうちイノシシによるものが約61%を占め、シカが約9%、ハクビシンによるものは約17%となっている。イノシシによる被害は、平成27年度の過去最大の約1億7千万円から、柵の整備や捕獲を行ったことで減少しているが、対策の進捗が獣類の生息域の拡大に追いついていない状況が続いており、より効果的、効率的な被害防止対策の計画的な実施が求められている。 鳥獣害対策を効果的に進めるためには、地域ぐるみの活動が重要であることから、地域リーダーとなる人材の育成を図るとともに、地域住民の意識の向上や集落環境の整備、侵入防止柵の設置や捕獲技術向上などの鳥獣害防止対策を総合的に推進していく。また、近年野生鳥獣による農作物被害が急増している市町に対しては、重点的に被害防止対策の支援に取り組むほか、捕獲体制の強化とあわせて鳥獣被害防止実施隊の設置を推進し、計画的な鳥獣被害防止対策の取組を進めることとする。
--